

精神医療センター再編整備推進事業

・再編整備の目的

療養環境を改善する

- ・病院施設の老朽化・狭隘化への対応（現施設全面改築 S39～42）、患者の人権を尊重したアメニティの高い療養環境の整備

公的医療機関としての役割を果たす

- ・措置患者や重篤な患者の受入機能の充実、研修機能の充実

経営を効率化する

- ・病床規模の見直し、病棟の集約化

・経緯

- ・平成14年度 衛生対策審議会答申「今後の府立の病院のあり方、果たすべき役割について」、府立の病院改革プログラム（診療機能の見直し編）、「再編整備基本構想」策定
- ・平成15年度 「再編整備実現化方策」策定
- ・平成16年度 「再編整備推進にかかる調査」実施
- ・平成17年度 「再編整備に関する検討結果」策定
- ・平成18年度 実施方針の公表、特定事業の選定（予定）

・事業概要

(1) 主な特徴

- ・施設の現況（現病院）

敷地面積：103,100 m²、

延床面積：32,081.63 m²（本院部分：26,157.27 m²、松心園部分：5,924.36 m²）

- ・整備計画（新病院）

延床面積：病院施設 約 25,900 m²（本館棟・成人棟・児童思春期棟）

附属施設 約 500 m²（刀根山養護学校分教室、車庫等）

- ・施設の建設場所：現地建替え

- ・建物の集約配置

現状 13か所に分散（主な建物） 再編後 1～3建物に集約

- ・診療・療養機能の充実

個室、保護室数の充実（現状 約 70床 再編後 約 130床）

外来部門の充実（薬物専門外来の整備等）

児童期・思春期部門の一体的な運営、感染症病床の整備

診療部門	平成15年4月	平成18年4月	建替え後
緊急・救急医療部門	32床	32床	40床
高度ケア医療部門	150床	150床	200床
総合治療部門	361床	243床	150床
思春期医療部門	47床	47床	50床
児童期医療部門	42床	42床	
合計	632床	514床	440床

- ・PFI手法の活用

民間のノウハウを活用した効率的・効果的な施設整備・維持管理

(2) P F I 事業スキーム

- ・事業方式：B T O (Build-Transfer-Operate) 方式

新病院建設費は、大阪府の起債を財源に、竣工後事業者に一括払い。
(建物の所有権は法人に移転)

起債対象外部分 (建設用地外の病棟の撤去費等) は割賦払い。

- ・業務内容： 施設整備業務：設計、工事監理、建設、解体撤去、移転引越 等
維持管理・医療関連サービス等業務 (約 15 年間)：建築物・設備保守点検等、警備、食事提供、洗濯、医事 等
- ・今後の予定：平成 19 年 1 月 特定事業の選定
平成 19 年 2 月頃 事業者の募集
平成 19 年 5 月頃 募集の締め切り
平成 19 年 7 月頃 落札者の決定
平成 19 年 9 月頃 事業契約の締結
実施設計 (約 1 年)、建設工事 (約 2 年)、開院準備 (数ヶ月)
平成 22 年 10 月 新病院開院
平成 38 年 3 月末 P F I 事業の終了

(3) 余剰地の活用・処分方策

- ・余剰地活用は P F I 事業と切り離し、余剰地が使用可能となるタイミングも勘案しながら、別途活用・処分方策を検討。

< 新病院ゾーニング図 >

